



Newspaper in Education

# 静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

2021年2月11日朝刊

## 円空初期作と判明

### 静岡・建穂寺の阿弥陀如来坐像

素朴な彫りとほほ笑みが特徴の「円空仏」で知られる江戸初期の修行僧、円空（1632〜95年）が極めて初期に制作した阿弥陀如来坐像が、静岡市葵区の建穂寺にあることが、東京国立博物館の主任研究員、三田寛之さん（38）と同市清水区出身の円空研究の第一人者で円空学会顧問の長谷川公茂さん（87）＝愛知県一宮市＝の調査でこのほど分かった。「謎が多い青年期の足跡を知る貴重な手掛かり」と注目されている。

### 東京国立博物館 三田研究員（清水区出身）



三田寛之  
東京国立博物館  
主任研究員

2010年、大学院生だった三田さんは同寺観音堂で円空の作と思われる仏像を発見した。仏像はその頃に長谷川さんが「円空の『ごく初期』と発表した三重県内の仏像の特徴を捉えていたという。三田さんは昨年、円空について論文を執筆。さらに長谷川さんと同寺を昨年、再訪した。阿弥陀如来坐像は高



ごく初期の円空仏と確認された阿弥陀如来坐像  
静岡市葵区の建穂寺観音堂

さ10・2尺。顔面を欠損しているが、長谷川さんは台座の形式や、背面の衣文線の彫りなどがごく初期の仏像と共通すると確認した。円空に関する記録「小伝」（全宋法印著）三田さんによると、若き円空は高僧行基を慕って12万体の仏像を造ろうと富士山で修行した。富土権現から鉈（なた）を授かり、彫り始めたところ、彫り始めたところ、

同寺は明治初め、廃仏毀釈（きしゃく）で廃寺に、さらに火災で観音堂を焼失した。地元住民で新たに観音堂を建て60体余の仏像を管理、修復してきた。建穂神社・観音堂評議委員会の佐藤四郎委員長（79）は「思いがけない朗報。地域の宝として大切にしたい」と喜び、新型コロナウイルスの収束後の公開を目指す。（文化生活部・岡本妙）

Q 円空（岐阜県羽島市）生まれ。30代初めから全国で修行し仏像を造り、人々の救済、死者の霊の鎮魂を込めたといわれる。和歌も多数残る。長谷川さんと円空学会によると、全国で約5400体以上確認され、県内には後世に寺院に寄進されたものや個人所有の6体がある。

- ①「円空仏」の特徴は何か。（ ）
- ②円空が極めて初期に制作した阿弥陀如来像が発見された静岡市の寺はどこか。（ ）
- ③円空が全国で修行し造った仏像に込められた願いは何か。（ ）

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

（中学校～高校／社会）

